



発行 緒川地区コミュニティ
推進協議会 ☎83-3006

編集 総務・広報部
機関紙編集委員会

発行日 2026年3月1日
第218号



希望 はな 希望
小野智宗子
小野智宗子
あまはつ
あまはつ

新春もちつき大会 2026年1月18日(日) 新春カラオケ演芸大会

打ち合わせから前日の準備と、当日まで多くの人が関わり、みんなで作り上げたイベントになりました。天候にも恵まれ、当日はたくさんの方に足を運んでいただきました。

焼き鳥を焼きながら聞こえてくるお客さんとスタッフの楽しそうな会話や笑い声、コマ回しに挑戦して夢中になる子どもたちの姿に、とても癒されました。ポン菓



子が出来る上がる大きな音も印象に残っています。

地域の方からたくさん声をかけていただき、ふれあう中であたたかさを感じました。これから、こうした地域の活動に積極的に関わっていかれたらと思います。

ふれあい部 若濱桃子

1月とは思えぬ温かい日差しの中、令和7年度新春カラオケ演芸大会がスタッフの入念な準備を似って、盛大に開催されました。

文化部副部長である私は、司会進行という大役を引き受けてしまいました。役どころだから、

「仕方ないよね」と自分に言い聞かせましたが・・・大勢の来場者を目の前にすると、誰もが緊張とそのプレッシャーに包まれるのは避けられません。その対策は、決してひとりではよいこむのではなく、みんなに助けってもらえるように、声をかけながら、振舞って

けば気持ちも楽になります。

さて、肝心の会の進行はといえば、恒例の大会であり、また出演者も勝手をわきまえた役者ぞろい、来場者の皆さんと楽

しく時間を過ごすことができました。

去年より今年、今年より来年とステップアップしてこそその継続事業であり、それを損なえば自発的な事業ではなく、単なる義務的な事業に陥ってしまいます。

来場者アンケートや主催者側の反省会でその内容を掘り下げ、次年度に備えてより良い事業を目指し、区民の繋がりを深め地域の発展に結びつきたいと思うばかりであります。

文化部副部長 竹内起男



寄せ植え講座 12/13(土)

1時間ほどでそれぞれの個性あ

た。植えを進めていきまし



緒川コミュニティセンターにてミニ門松を作る「寄せ植え講座」が開催されました。例年通り、講師にシルバー人材センターの3名の方をお迎えしました。参加者は指導を受

講師の方々には、事前の材料手配と予備加工、当日の懇切丁寧なご指導をいただき、大変お世話になりました。来年度も皆様の参加をお待ちしております。

総務・広報部副部長 坂野 朋生

ふれる素敵な作品が出来上がりました。

皆さん、完成した作品が自宅に飾られる正月を思い浮かべ、思わず笑顔になっていました。

カローリング大会 12/20(土)



カローリング大会に多くの皆様に参加していただきありがとうございます。カローリングは氷上のオリンピックスポーツ「カーリング」をもとに考案された愛知発祥のニュースポーツです。年齢や体力に関係なく、誰もが楽しむことができます。参加メンバー皆で戦略を練り、チームワークが魅力の競技でもあります。

これから地域皆さんが笑顔あふれる時間を共有できればと思います。今後もしよろしく願っています。

体育部 林 弘章

2023年ごろ



今現在



道端の網だけのゴミステーションのビフォーアフター。地域の方々の努力のたまもの。



ゴミ捨ての日ではないある日の土曜日。プラゴミ、ペットボトル、カンなどが雑多に混じった袋が投棄。



困っていませんか?!

月曜日の収集後のステーション。ゴミ散乱。収集後に投棄されたものが荒らされた。



カラスや猫に荒らされてゴミステーション周辺が汚くなって困っているという声をたくさん耳にします。マナーを守っていればこんなにも汚れることはないはずなのに...

可燃ゴミの期日は月・木曜日当日の8時までがルールです。前日のみならず前々日それ以上前から出されているステーションを目にすることもたびたびです。周辺にお住まいの方は大変迷惑されています。一番の問題は我々の意識・モラルではないでしょうか?!

ゴミステーションの網が破れたり、お困りのことがありましたら、コミュニティセンターにご相談ください。

令和8年度 緒川地区 コミュニティ総会

- ・と き 4月25日(土) 午前10時
 - ・ところ 緒川コミュニティセンター
- ※皆さんお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

【お詫びして訂正いたします。】

2026年1月1日発行の第217号6ページ「おがわっ子広場」で間違いがありました。(誤) 深谷紫月さん ⇒ (正) 深江紫月さん

地域のゴミステーション、大丈夫ですか?





おがわっ子広場



6年生での成長

6年 林田陽葵

1年生の頃と6年生を比べると、私はたくさん成長しました。

1年生の頃、私は発表が苦手でした。発表する時、いつも顔が真っ赤で声がとても小さくて、周りにめいわくをかけていたと思います。ですが、今の私は少し変わりました。発表の際、声はみんなに聞こえやすい大きくなり、自分でも成長したなと感じました。

そして、6年生になつて自分から行動するということができるようになりました。1年生の頃は、誰かがやらないと、自分も行動しないという思考が勝っていました。しかし、先生方にくさん声をかけていただき、中学校への新しい成長を見つけたと思います。これからも、新しい成長を見つけて、いろいろな「楽しい」を探していきたいです。



6年生のO・T活動

6年 鈴木結叶

ぼくは絵を描くのが好きで、ずっと集中できる特別なことだと思っています。これは、兄のえいきょうです。兄は絵がうまう、尊敬できる存在です。

6年生の春、ぼくはイラストのO・Tに入りました。1期の活動はうまくいかないことが多く悩んでいると、兄がイラストは楽しんでやるんだよと教えてくれました。先生にも

アドバイスをもらい、努力しながら楽しんでやっていると、だんだん上達してきたと感じることが多くなり、自信を持ちました。いつもうまくいくわけではなかったけれど、あきらめずにやることが大切だということ学びました。ぼくにとうて、O・Tの活動は、自分の好きなことと向き合うとても楽しい時間でした。

提供「メドック東浦」利用者さん

はな 花見 祭り ひな 花見 はな

酒井みき 野間元由香 阿知松雪子 藤田

編集後記

春の足音が少しずつ近づき、緒川のまちにもやわらかな空気が感じられる季節となりました。本紙では、地域で活躍する皆さんの取り組みや行事を通して、人々とのつながりの大切さをお伝えしています。

新しい年度を前に、期待と不安が入り交じる時期ですが、機関紙が皆さんのくらしに小さな安心と前向きな気持ちを届けられれば幸いです。今後も身近で親しみやすい情報発信を心がけてまいります。

季節の変わり目、体調管理に気を配りながら、笑顔あふれる春を迎えましょう。地域の声を大切に、総務・広報部一同努力してまいります。引き続きご愛読お願いいたします。

〔機関紙編集委員会〕

【委員長】 山崎 宏子

【委員】

前田 邦子 坂野 朋生
鈴木 金光 真野かおる
鈴木 綾香 中村 耕右
野村 直子 小林 幸子